

第2節 ニーズ（アンケート）調査結果の要点

1 調査の概要

（1）調査の目的

平成 27 年 4 月からスタートする市の総合的な子ども・子育て支援に関する新しい計画（国の「子ども・子育て支援事業計画」を含む・計画期間：平成 27～31 年度）の策定に向けて、その基礎資料とすること（定性的把握、ニーズ量推計根拠資料等）を目的とする。

（2）調査の方法

- ・調査区域：市内全域
- ・調査対象：①市内在住の就学前の子どものいる保護者 → 「就学前児童調査」
②市内在住の小学校 1～4 年生の子どものいる保護者 → 「小学生調査」
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・対象者数：「就学前児童調査」… 1,200
「小学生調査」… 800
- ・実施方法：郵送配付－郵送回収法
- ・実施時期：平成 25 年 11 月下旬～12 月 6 日

（3）回収結果

調査区分	有効回収数	有効回収数合計	有効回収率
①就学前児童調査	511	870	42.6%
②小学生調査	359		44.9%

2 集計の見方

- ニーズ（アンケート）調査結果の要点は、主な項目のみ掲載した。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- 表・グラフ中、整数は回答者数等（単位：人）を、小数第 1 位までの数値は百分率（単位：%）を、それぞれ表している。
- 調査結果の比率は、その質問の対象者数（「全体」と表記）を基数として、小数第 2 位を四捨五入して算出している。そのため、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。

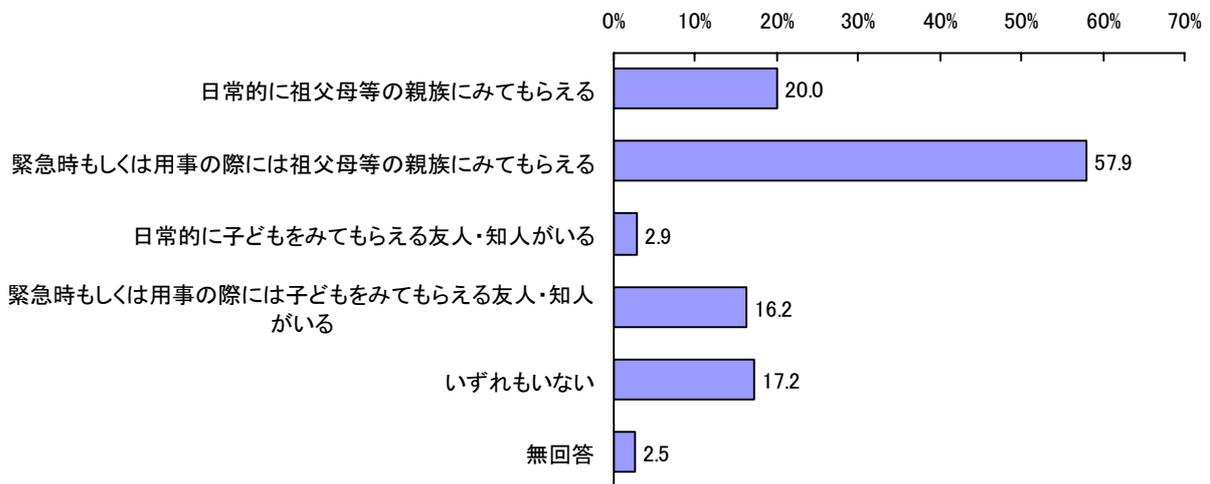
就学前児童調査の要点

◆子どもをみてもらえる親族、知人等（問9）

17.2%は「いずれもない」と回答

問9 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族や知人等はおられますか。（当てはまるものすべてに○）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	102	20.0
2	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	296	57.9
3	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	15	2.9
4	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	83	16.2
5	いずれもない	88	17.2
	無回答	13	2.5
	全体	511	100.0



○「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」（57.9%）という回答が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（20.0%）が多くなっているが、「いずれもない」という回答も17.2%ある。

【年齢別】 *上段…人数（単位：人）、下段…構成比（単位：%）

区分	全体	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
合計	511 100.0	102 20.0	296 57.9	15 2.9	83 16.2	88 17.2	13 2.5
0～2歳	258 100.0	65 25.2	150 58.1	5 1.9	31 12.0	38 14.7	3 1.2
3～5歳	241 100.0	37 15.4	144 59.8	10 4.1	52 21.6	48 19.9	2 0.8

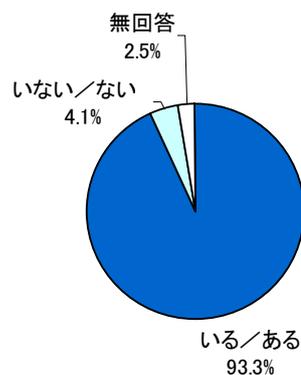
○「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の回答割合は、0～2歳児が3～5歳児を9.8ポイント上回っている。「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」では、反対に3～5歳児が0～2歳児を9.6ポイント上回っている。

◆気軽に相談できる先の有無（問10）

4.1%は「いない／ない」と回答

問10 あて名のお子さんの子育て（*教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	いる／ある	477	93.3
2	いない／ない	21	4.1
	無回答	13	2.5
	全体	511	100.0



○「いる／ある」という回答が93.3%を占めているが、一方、「いない／ない」という回答も4.1%ある。

【年齢別】 *上段…人数（単位：人）、下段…構成比（単位：%）

区分	全体	いる／ある	いない／ない	無回答
合計	511	477	21	13
	100.0	93.3	4.1	2.5
0～2歳	258	242	9	7
	100.0	93.8	3.5	2.7
3～5歳	241	223	12	6
	100.0	92.5	5.0	2.5

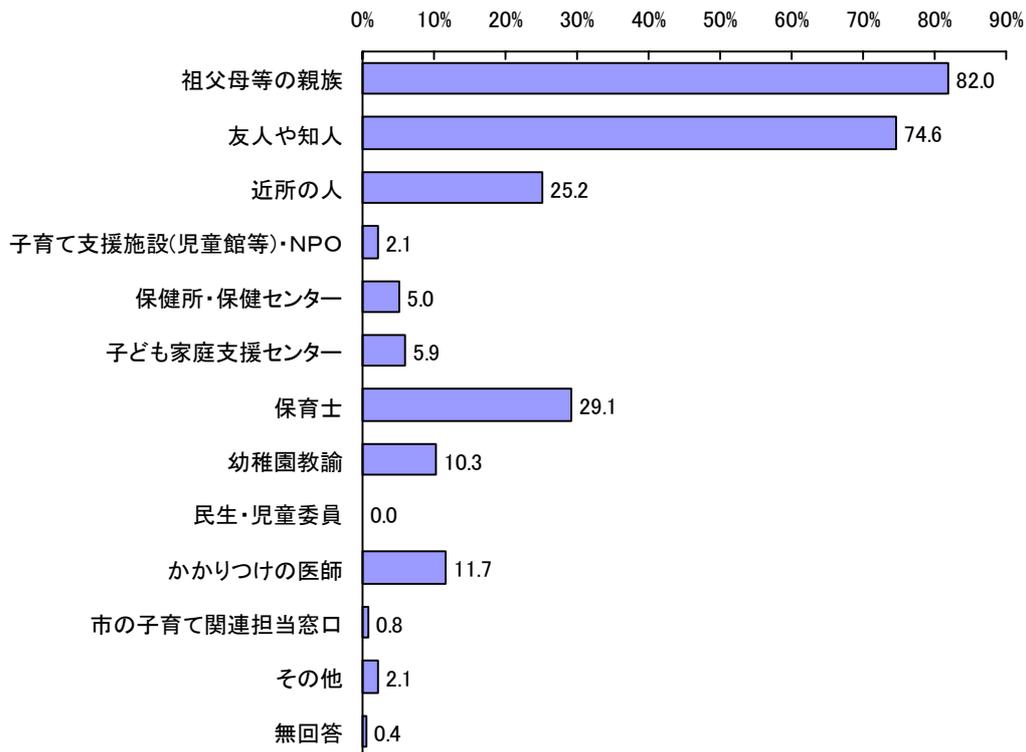
○0～2歳児・3～5歳児とも、子どもの年齢による傾向の違いはみられない。

◆気軽に相談できる先（問10-1）

「祖父母等の親族」、「友人や知人」という回答が多い

問10-1 問10で「1」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（*教育を含む）について、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	祖父母等の親族	391	82.0
2	友人や知人	356	74.6
3	近所の人	120	25.2
4	子育て支援施設(児童館等)・NPO	10	2.1
5	保健所・保健センター	24	5.0
6	子ども家庭支援センター	28	5.9
7	保育士	139	29.1
8	幼稚園教諭	49	10.3
9	民生・児童委員	0	0.0
10	かかりつけの医師	56	11.7
11	市の子育て関連担当窓口	4	0.8
12	その他	10	2.1
	無回答	2	0.4
	全体	477	100.0
	非該当	34	



○「祖父母等の親族」(82.0%)という回答が最も多く、次いで「友人や知人」(74.6%)が多くなっている。

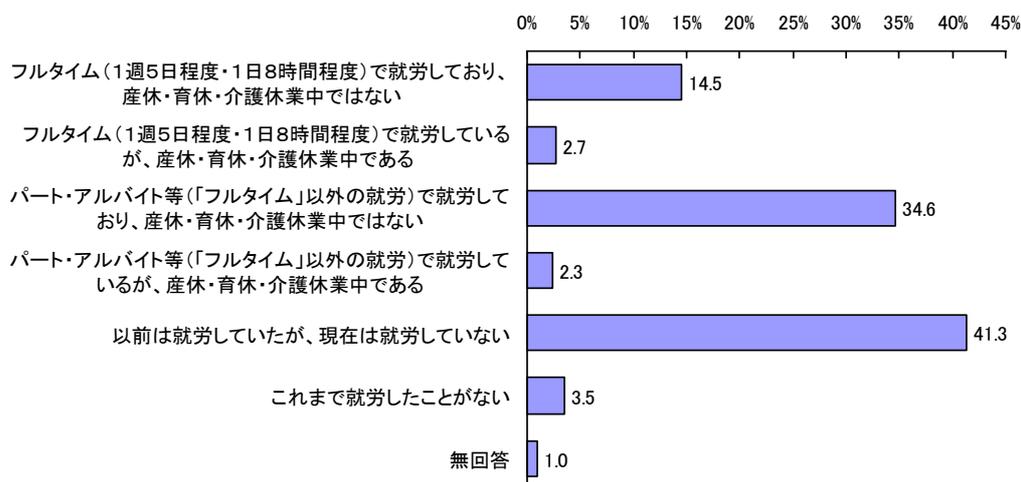
◆保護者の現在の就労状況 (問 12)

問12 保護者の現在の就労状況 (* 自営業、家族従事者を含む) は下記のどれですか。

(1) 母親

41.3%が「以前は就労していたが、現在はしていない」と回答

No.	選択肢	回答者数等	%
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	74	14.5
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	14	2.7
3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	177	34.6
4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	2.3
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	211	41.3
6	これまで就労したことがない	18	3.5
	無回答	5	1.0
	全体	511	100.0

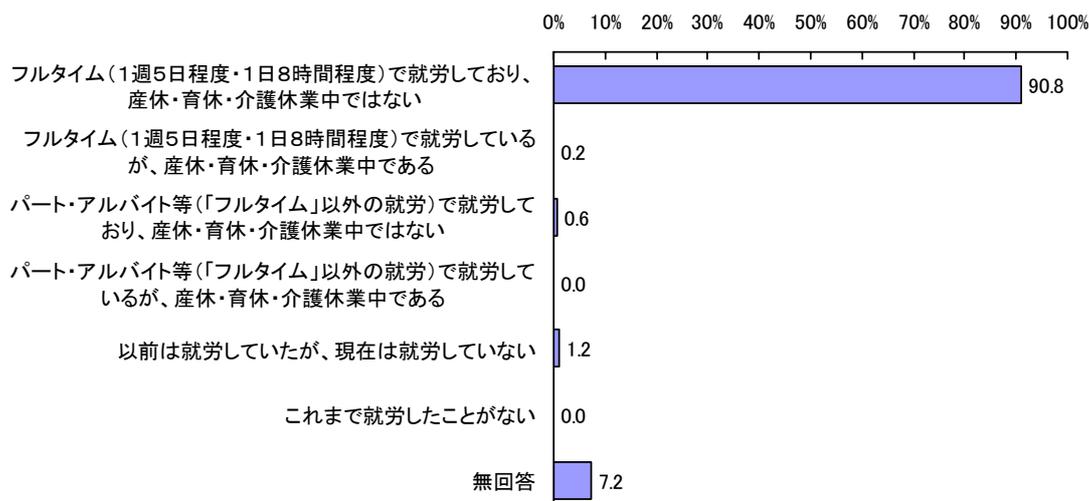


○「以前は就労していたが、現在は就労していない」(41.3%)という回答が最も多く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(34.6%)が多くなっている。

(2) 父親

「フルタイムで就労している」という回答が多い

No.	選択肢	回答者数等	%
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	464	90.8
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	0.2
3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	0.6
4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	6	1.2
6	これまで就労したことがない	0	0.0
	無回答	37	7.2
	全体	511	100.0



○「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(90.8%)という回答が圧倒的に多くなっている。

◆就労希望の有無 (問 14)

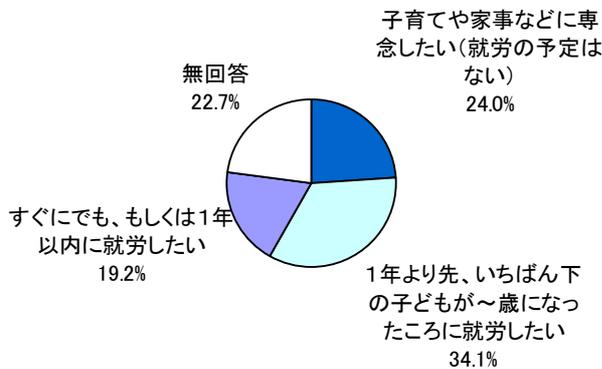
母親は「1年より先」、父親は「すぐに、もしくは1年以内」に就労したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する内には数字をご記入ください (数字は1枠に1字)。

(1) 母親

No.	選択肢	回答者数等	%
1	子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	55	24.0
2	1年より先、いちばん下の子どもが～歳になったところに就労したい	78	34.1
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	44	19.2
	無回答	52	22.7
	全体	229	100.0
	非該当	282	

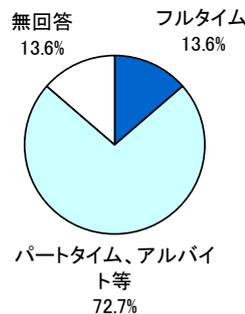


No.	選択肢	回答者数等	%
1	1歳	1	1.3
2	2歳	2	2.6
3	3歳	2	2.6
4	4歳	20	25.6
5	5歳	11	14.1
6	6歳	5	6.4
7	7歳	7	9.0
8	8歳	16	20.5
9	9歳	4	5.1
10	10歳	4	5.1
11	11歳	2	2.6
12	12歳	2	2.6
	無回答	2	2.6
	全体	78	100.0
	非該当	433	

○「1年より先に就労したい」(34.1%)という答えが最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(24.0%)が多くなっている。

【希望する就労形態】

No.	選択肢	回答者数等	%
1	フルタイム	6	13.6
2	パートタイム、アルバイト等	32	72.7
	無回答	6	13.6
	全体	44	100.0
	非該当	467	



<1週当たりの日数>

No.	選択肢	回答者数等	%
1	1日	0	0.0
2	2日	1	3.1
3	3日	8	25.0
4	4日	18	56.3
5	5日	4	12.5
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	無回答	1	3.1
	全体	32	100.0
	非該当	479	

<1日当たりの時間>

No.	選択肢	回答者数等	%
4	4時間	11	34.4
5	5時間	12	37.5
6	6時間	6	18.8
8	8時間	2	6.3
9	9時間以上	0	0.0
	無回答	1	3.1
	全体	32	100.0
	非該当	479	

(2) 父親

No.	選択肢	回答者数等	%
1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	0	0.0
2	1年より先、いちばん下の子どもが～歳になったころに就労したい	0	0.0
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	4	66.7
	無回答	2	33.3
	全体	6	100.0
	非該当	505	

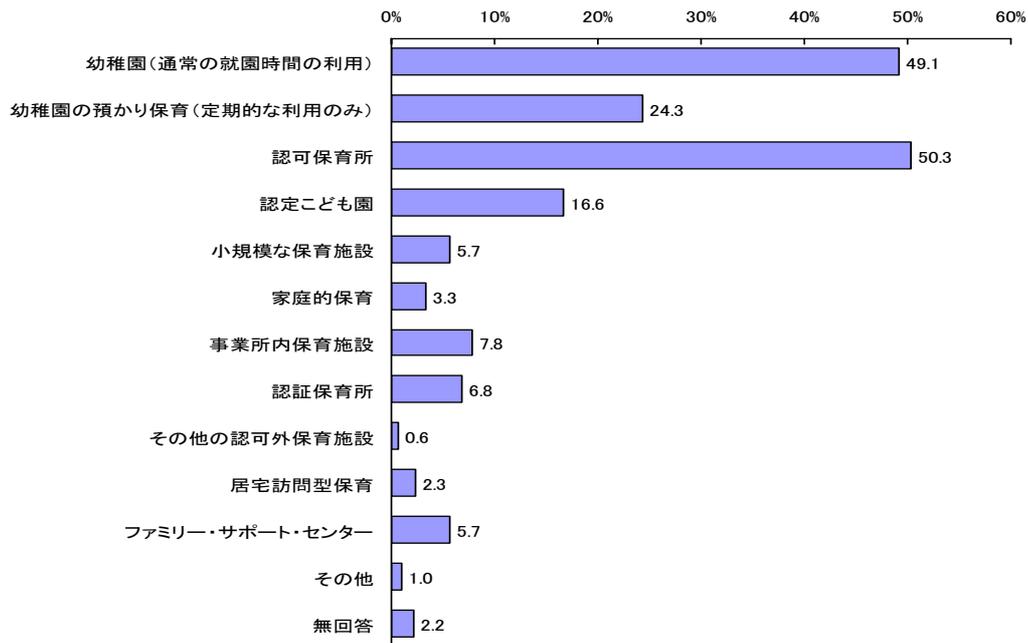
○該当者6人中4人が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答している。

◆定期的に利用したい教育・保育事業（問16）

認可保育所、幼稚園が多い

問16 すべての方にうかがいます。現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（当てはまるものすべてに○）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	幼稚園（通常の就園時間の利用）	251	49.1
2	幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	124	24.3
3	認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	257	50.3
4	認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	85	16.6
5	小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	29	5.7
6	家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）	17	3.3
7	事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	40	7.8
8	認証保育所（国基準による認可保育所ではないが、東京都が独自基準で認証・認定した施設）	35	6.8
9	その他の認可外の保育施設	3	0.6
10	居宅訪問型保育（保育者が子どもの家庭で保育する事業）	12	2.3
11	ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	29	5.7
12	その他	5	1.0
	無回答	11	2.2
	全体	511	100.0



○「認可保育所」(50.3%)が最も多く、僅差で「幼稚園(通常就園時間の利用)」(49.1%)が続いている。

【年齢別】*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

区分	全体	幼稚園 (通常就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育 (定期的な利用のみ)	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	認証保育所	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリーサポート・センター	その他	無回答
合計	511 100.0	251 49.1	124 24.3	257 50.3	85 16.6	29 5.7	17 3.3	40 7.8	35 6.8	3 0.6	12 2.3	29 5.7	5 1.0	11 2.2
0~2歳	258 100.0	123 47.7	53 20.5	132 51.2	53 20.5	21 8.1	13 5.0	25 9.7	22 8.5	3 1.2	6 2.3	12 4.7	2 0.8	4 1.6
3~5歳	241 100.0	123 51.0	68 28.2	118 49.0	30 12.4	7 2.9	4 1.7	15 6.2	13 5.4	0 0.0	5 2.1	15 6.2	3 1.2	7 2.9

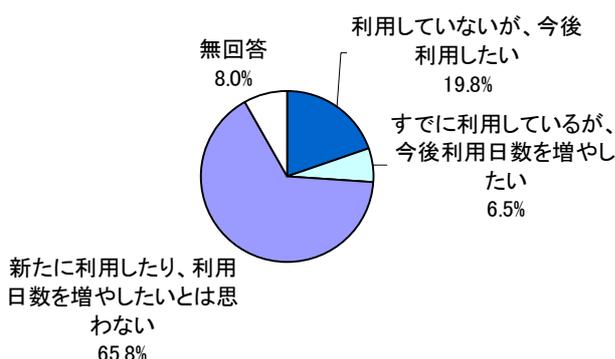
○0~2歳児では「認可保育所」が最も多いが、3~5歳児では「幼稚園(通常就園時間の利用)」が最も多くなっている。

◆「地域子育て支援拠点事業」の利用意向(問19)

「利用していないが、今後利用したい」が19.8%

問19 問18のような「地域子育て支援拠点事業」(『子育てセンター』など)について、「今は利用していないができれば今後利用したい」、あるいは「利用日数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は1枠に1字)。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用していないが、今後利用したい	101	19.8
2	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	33	6.5
3	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	336	65.8
	無回答	41	8.0
	全体	511	100.0



○「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(65.8%)という回答が最も多いが、「利用していないが、今後利用したい」(19.8%)も2割弱みられる。

◆子育て支援各事業の認知度など(問20)

園庭等開放や保健センターの事業等の利用意向が高い

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①~⑦の事業ごとに、A~Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

[A 認知度 (知っている)]

単位：%

	はい	いいえ	無回答
① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	80.0	14.9	5.1
② 保健センターの情報・相談事業	79.5	16.4	4.1
③ 家庭教育に関する学級・講座	26.6	68.7	4.7
④ 教育相談センター・教育相談室	42.1	53.2	4.7
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	89.6	4.7	5.7
⑥ 子ども家庭支援センター (「市民総合センター」 2階)	75.0	19.0	6.1
⑦ 赤ちゃんふらっと	30.5	65.0	4.5

○ “保育所や幼稚園の園庭等の開放”、“母親(父親)学級、両親学級、育児学級”、“保健センターの情報・相談事業”については「はい」(回答割合は、順に 89.6%、80.0%、79.5%) という回答が多く、認知度が高くなっている。

[C 今後の利用意向 (今後利用したい)]

単位：%

	はい	いいえ	無回答
① 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	25.0	59.9	15.1
② 保健センターの情報・相談事業	46.2	39.9	13.9
③ 家庭教育に関する学級・講座	32.7	54.2	13.1
④ 教育相談センター・教育相談室	38.2	47.7	14.1
⑤ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	50.7	36.4	12.9
⑥ 子ども家庭支援センター (「市民総合センター」 2階)	44.2	42.9	12.9
⑦ 赤ちゃんふらっと	43.8	43.2	12.9

○ “保育所や幼稚園の園庭等の開放”、“保健センターの情報・相談事業”、“子ども家庭支援センター”、“赤ちゃんふらっと”について「はい」(回答割合は、順に 50.7%、46.2%、44.2%、43.8%) という回答が4割台と比較的多く、今後の利用意向が多くなっていることが分かる。

◆土・日・祝日の教育・保育事業の利用希望の有無（問 21）

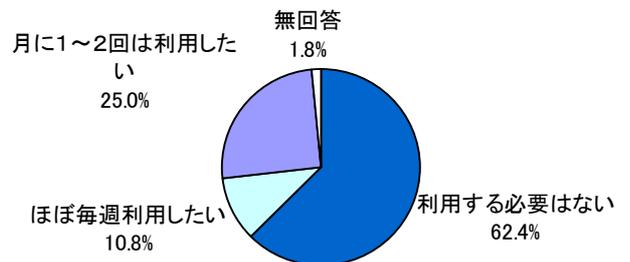
利用ニーズは土曜日で 35.8%、日曜・祝日で 19.4%

※「教育・保育事業」とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かり等は含みません。

問 21 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（*一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「例）09時～18時」のように 24 時間制でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

（1）土曜日

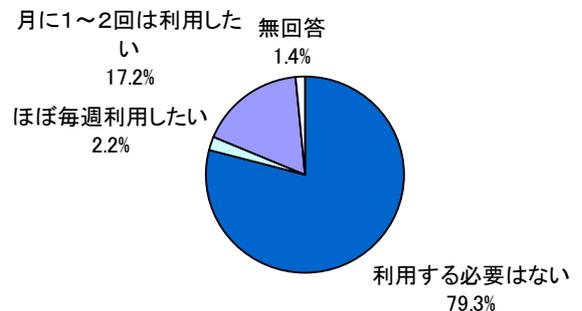
No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用する必要はない	319	62.4
2	ほぼ毎週利用したい	55	10.8
3	月に 1～2 回は利用したい	128	25.0
	無回答	9	1.8
	全体	511	100.0



○「利用する必要はない」（62.4%）という回答が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（25.0%）が多くなっている。

（2）日曜・祝日

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用する必要はない	405	79.3
2	ほぼ毎週利用したい	11	2.2
3	月に 1～2 回は利用したい	88	17.2
	無回答	7	1.4
	全体	511	100.0



○「利用する必要はない」（79.3%）という回答がほぼ 8 割を占め最も多く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」（17.2%）が多くなっている。

◆病児・病後児保育施設等の利用意向の有無（問 23-2）

34.3%が「できれば病児・病児後保育施設等を利用したい」と回答

問 23-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 23-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	69	34.3
2	利用したいとは思わない	132	65.7
	無回答	0	0.0
	全体	201	100.0
	非該当	310	

<利用したい日数>

No.	選択肢	回答者数等	%
1	1日	3	4.3
2	2日	6	8.7
3	3日	13	18.8
4	4日	0	0.0
5	5日	10	14.5
6	6日	0	0.0
7	7日	2	2.9
8	8日	1	1.4
9	9日	0	0.0
10	10日	16	23.2
11	11～14日	3	4.3
12	15～21日	2	2.9
13	22日以上	3	4.3
	無回答	10	14.5
	全体	69	100.0
	非該当	442	

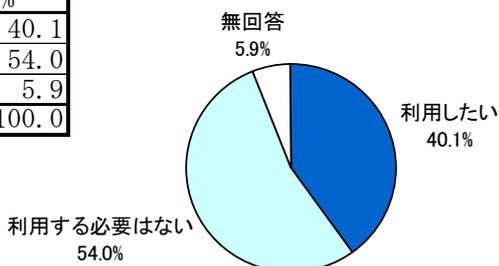


○「利用したいとは思わない」(65.7%)という回答が多いが、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」という回答も34.3%ある。

◆私用等のため事業を不定期に利用する必要がある日数 (問 25)
40.1%が「利用したい」と回答

問 25 あて名のお子さんについて、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用したい	205	40.1
2	利用する必要はない	276	54.0
	無回答	30	5.9
	全体	511	100.0

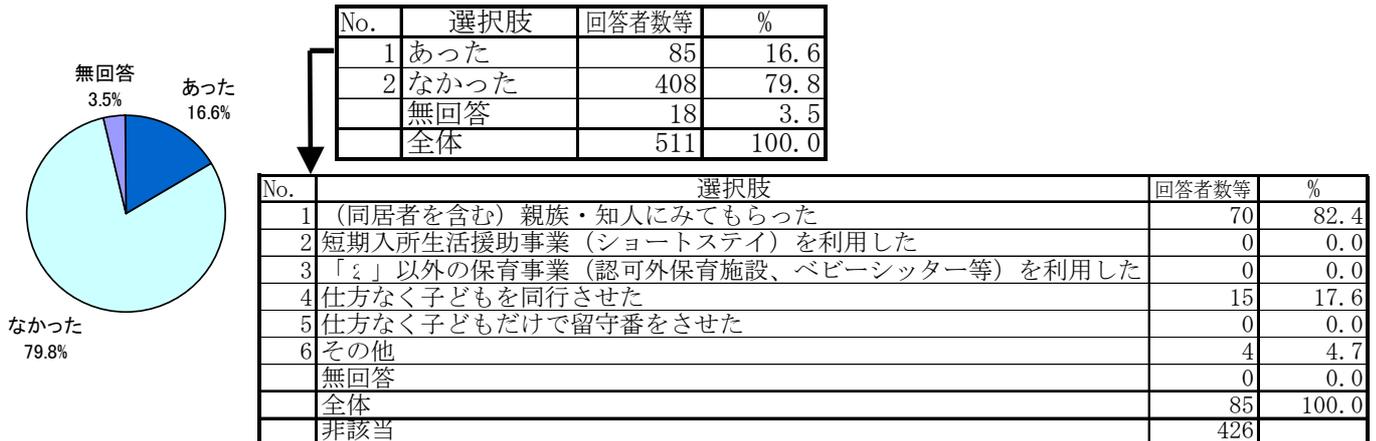


No.	選択肢	回答者数等	%
1	私用(買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等)、リフレッシュ目的	134	65.4
2	冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	136	66.3
3	不定期の就労	59	28.8
4	その他	12	5.9
	無回答	8	3.9
	全体	205	100.0

○「利用する必要はない」(54.0%)という回答が多く過半数を占めているが、「利用したい」も40.1%みられる。

◆子どもを泊りがけでみてもらわなければならなかった日数（問 26）
16.6%が「あった」と回答

問 26 この1年間に、保護者の用事など（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（*預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は1枠に1字）。



○「なかった」(79.8%)という回答が多いが、「あった」という回答も16.6%ある。

◆放課後過ごさせたい場所（小学校低学年）（問 27）
「学童クラブ」、「自宅」、「習い事」等が多い

問 27 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また「放課後児童クラブ*」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず「例）18時」のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。曜日等により時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお考えください。

☆放課後児童クラブ …武蔵村山市では「学童クラブ」と呼ばれている事業です。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。※児童館で行う学童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答してください。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	自宅	33	41.3
2	祖父母宅や友人・知人宅	9	11.3
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	32	40.0
4	児童館	7	8.8
5	放課後子ども教室	28	35.0
6	学童クラブ(放課後児童クラブ)	44	55.0
7	ファミリー・サポート・センター	0	0.0
8	その他(公民館、公園など)	17	21.3
	無回答	4	5.0
	全体	80	100.0
	非該当	431	

○「学童クラブ（放課後児童クラブ）」(80人中44人)という回答が過半数に達して最も多く、「自宅」(同33人)、「習い事」(同32人)が続いている。

< 「学童クラブ」の利用希望時間（終了時刻） >

No.	選択肢	回答者数等	%
16	16時	5	11.4
17	17時	10	22.7
18	18時	23	52.3
19	19時	6	13.6
	全体	44	100.0

◆放課後過ごさせたい場所（小学校高学年）（問 28）

「習い事」、「自宅」等が多い

問 28 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず「例）18時」のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。
※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	自宅	50	62.5
2	祖父母宅や友人・知人宅	13	16.3
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	51	63.8
4	児童館	10	12.5
5	放課後子ども教室	27	33.8
6	学童クラブ（放課後児童クラブ）	20	25.0
7	ファミリー・サポート・センター	0	0.0
8	その他（公民館、公園など）	18	22.5
	無回答	4	5.0
	全体	80	100.0
	非該当	431	

○「習い事」（80人中51人）、
「自宅」（同50人）という回答が多くなっている。

< 「学童クラブ」の利用希望時間（終了時刻） >

No.	選択肢	回答者数等	%
16	16時	1	5.0
17	17時	2	10.0
18	18時	12	60.0
19	19時	3	15.0
	無回答	2	10.0
	全体	20	100.0

◆土・日・祝日の学童クラブの利用希望の有無（問 29）

利用ニーズは土曜日で 53.2%、日曜・祝日で 27.6%

問 29 問 27 または問 28 で「6. 学童クラブ（放課後児童クラブ）」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に学童クラブの利用希望はありますか。（1）、（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を口内に「例）09時～18時」のように 24 時間制でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

（1）土曜日

No.	選択肢	回答者数等	%
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	17	36.2
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	8	17.0
3	利用する必要はない	21	44.7
	無回答	1	2.1
	全体	47	100.0
	非該当	464	

○「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 36.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は 17.0%ある。

<「学童クラブ」の利用希望時間（終了時刻）>

No.	選択肢	回答者数等	%
16	16時	3	12.0
17	17時	5	20.0
18	18時	13	52.0
19	19時	4	16.0
	無回答	0	0.0
	全体	25	100.0
	非該当	486	

○終了時刻については、「18時」という回答が 52.0%で最も多いが、「19時」も 16.0%の回答がある。

（2）日曜・祝日

No.	選択肢	回答者数等	%
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	8	17.0
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	5	10.6
3	利用する必要はない	32	68.1
	無回答	2	4.3
	全体	47	100.0
	非該当	464	

○「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 17.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は 10.6%ある。

<「学童クラブ」の利用希望時間（終了時刻）>

No.	選択肢	回答者数等	%
16	16時	1	7.7
17	17時	1	7.7
18	18時	8	61.5
19	19時	2	15.4
	無回答	1	7.7
	全体	13	100.0
	非該当	498	

○終了時刻については、「18時」という回答が 61.5%で最も多いが、「19時」も 15.4%の回答がある。

◆休暇期間中の学童クラブの利用希望の有無（問 30）

「高学年になっても利用したい」という回答が 30.0%ある

問 30 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を口内に「例）09時～18時」のように 24 時間制でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	低学年（1～3年生）の間は利用したい	35	43.8
2	高学年（4～6年生）になっても利用したい	24	30.0
3	利用する必要はない	15	18.8
	無回答	6	7.5
	全体	80	100.0
	非該当	431	

○「低学年（1～3年生）の間は利用したい」という回答 43.8%と多いが、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」という回答も 30.0%ある。

< 「学童クラブ」の利用希望時間（終了時刻） >

No.	選択肢	回答者数等	%
13	13時	1	1.7
14	14時	1	1.7
15	15時	2	3.4
16	16時	7	11.9
17	17時	19	32.2
18	18時	21	35.6
19	19時	7	11.9
	無回答	1	1.7
	全体	59	100.0
	非該当	452	

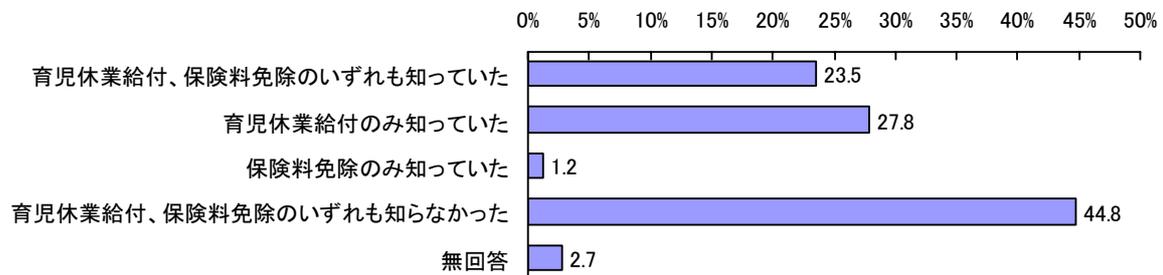
○終了時刻については、「18時」という回答が 35.6%で最も多いが、「19時」も 11.9%の回答がある。

◆制度の認知状況（問 31-1）

「育児休業給付」、「保険料免除」のいずれも知らなかった人が最も多い

問 31-1 子どもが原則1歳（*保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給されるしくみ、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（*法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険・厚生年金保険の保険料が免除になるしくみがありますが、そのことをご存じでしたか。（○は1つ）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	120	23.5
2	育児休業給付のみ知っていた	142	27.8
3	保険料免除のみ知っていた	6	1.2
4	育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	229	44.8
	無回答	14	2.7
	全体	511	100.0



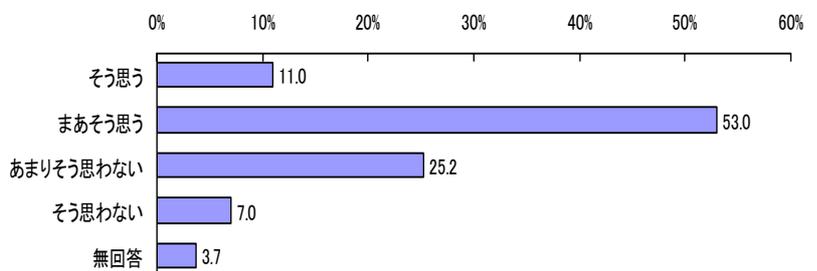
○「『育児休業給付』、『保険料免除』のいずれも知らなかった」（44.8%）という回答が最も多く、次いで「『育児休業給付』のみ知っていた」（27.8%）が多くなっている。両方知っていた人は、4分の1弱（23.5%）である。

◆安心して子どもを産み育てられるまちと思うか（問 32）

肯定的回答は64.0%、否定的回答は32.2%

問 32 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思われませんか。（○は1つ）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	そう思う	56	11.0
2	まあそう思う	271	53.0
3	あまりそう思わない	129	25.2
4	そう思わない	36	7.0
	無回答	19	3.7
	全体	511	100.0



○「まあそう思う」（53.0%）という回答が過半数を占めて最も多く、次いで「あまりそう思わない」（25.2%）が多くなっている。また、「そう思う」と「まあそう思う」の“肯定的回答”は64.0%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の“否定的回答”は32.2%となっている。

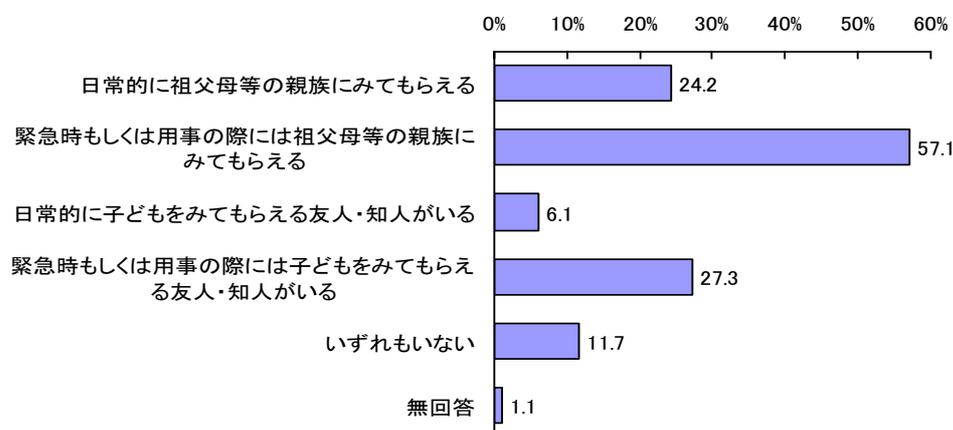
小学生調査の要点

◆子どもをみてもらえる親族、知人等（問9）

「いずれもない」という回答が11.7%ある

問9 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族や知人等はおられますか。（当てはまるものすべてに○）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	87	24.2
2	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	205	57.1
3	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	22	6.1
4	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	98	27.3
5	いずれもない	42	11.7
	無回答	4	1.1
	全体	359	100.0



○「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」という回答が57.1%と最も多いが、「いずれもない」という回答も11.7%ある。

【学年別】 *上段…人数（単位：人）、下段…構成比（単位：%）

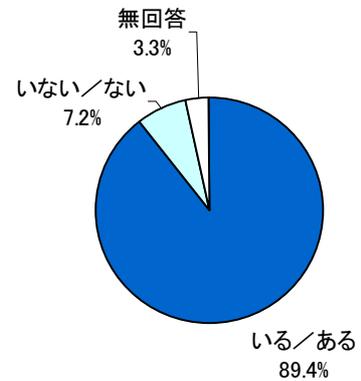
区分	全体	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
合計	359 100.0	87 24.2	205 57.1	22 6.1	98 27.3	42 11.7	4 1.1
1年生	102 100.0	19 18.6	60 58.8	5 4.9	26 25.5	12 11.8	3 2.9
2年生	91 100.0	24 26.4	49 53.8	2 2.2	29 31.9	12 13.2	0 0.0
3年生	85 100.0	25 29.4	51 60.0	3 3.5	21 24.7	8 9.4	0 0.0
4年生	77 100.0	18 23.4	43 55.8	12 15.6	21 27.3	10 13.0	1 1.3

○「いずれもない」と回答した学年は2年生が13.2%で最も多いが、各学年とも10%前後の回答があり、学年での傾向はみられない。4年生では、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が他の学年と比べて多くなっている。

◆気軽に相談できる先の有無（問10）
「いない／ない」の回答が7.2%

問10 あて名のお子さんの子育て（*教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	いる／ある	321	89.4
2	いない／ない	26	7.2
	無回答	12	3.3
	全体	359	100.0



○「いる／ある」という回答が89.4%と多いが、
「いない／ない」も7.2%の回答がある。

【学年別】 *上段…人数（単位：人）、下段…構成比（単位：%）

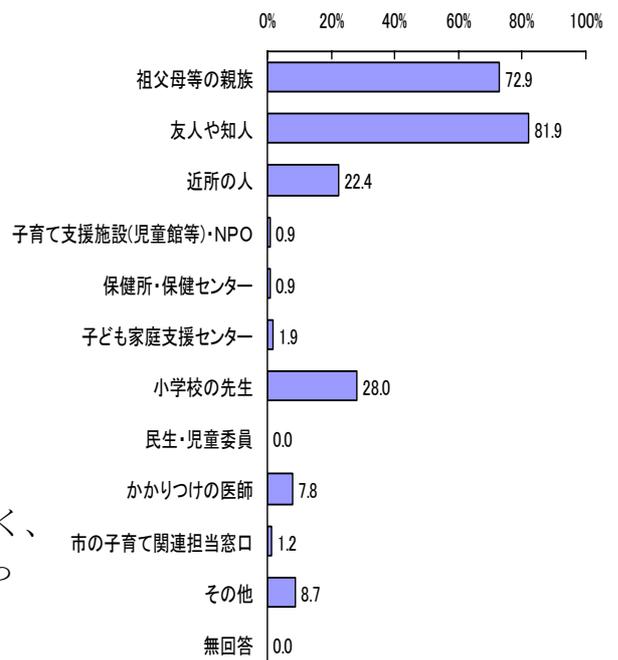
区分	全体	いる／ある	いない／ない	無回答
合計	359 100.0	321 89.4	26 7.2	12 3.3
1年生	102 100.0	95 93.1	4 3.9	3 2.9
2年生	91 100.0	82 90.1	7 7.7	2 2.2
3年生	85 100.0	72 84.7	9 10.6	4 4.7
4年生	77 100.0	68 88.3	6 7.8	3 3.9

○3年生・4年生では「いる／ある」の割合が8割台の数値となっており、1年生・2年生と比べるとやや少ない。

◆気軽に相談できる先（問10-1）
「友人や知人」、「祖父母等の親族」という回答が多い

問10-1 問10で「1」に○をつけた方にうかがいます。 お子さんの子育て（*教育を含む）について、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	祖父母等の親族	234	72.9
2	友人や知人	263	81.9
3	近所の人	72	22.4
4	子育て支援施設(児童館等)・NPO	3	0.9
5	保健所・保健センター	3	0.9
6	子ども家庭支援センター	6	1.9
7	小学校の先生	90	28.0
8	民生・児童委員	0	0.0
9	かかりつけの医師	25	7.8
10	市の子育て関連担当窓口	4	1.2
11	その他	28	8.7
	無回答	0	0.0
	全体	321	100.0
	非該当	38	



○「友人や知人」（81.9%）という回答が最も多く、
次いで「祖父母等の親族」（72.9%）が多くなっている。

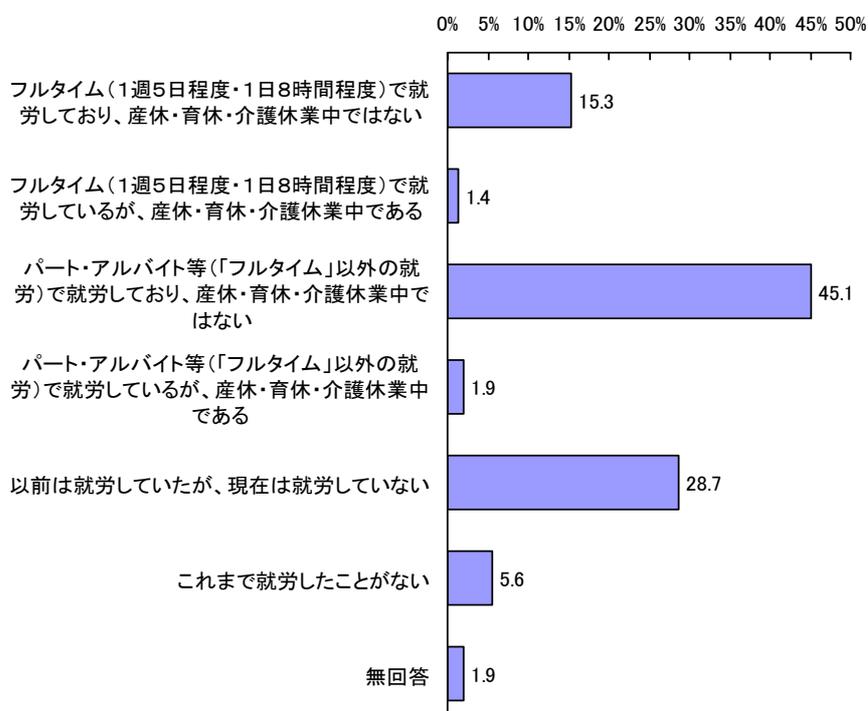
◆保護者の現在の就労状況（問12）

問12 保護者の現在の就労状況（*自営業、家族従事者を含む）は下記のどれですか。

（1）母親

45.1%が「パート・アルバイト等就労で、産休・育休・介護休業中ではない」と回答

No.	選択肢	回答者数等	%
1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	55	15.3
2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5	1.4
3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	162	45.1
4	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	1.9
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	103	28.7
6	これまで就労したことがない	20	5.6
	無回答	7	1.9
	全体	359	100.0

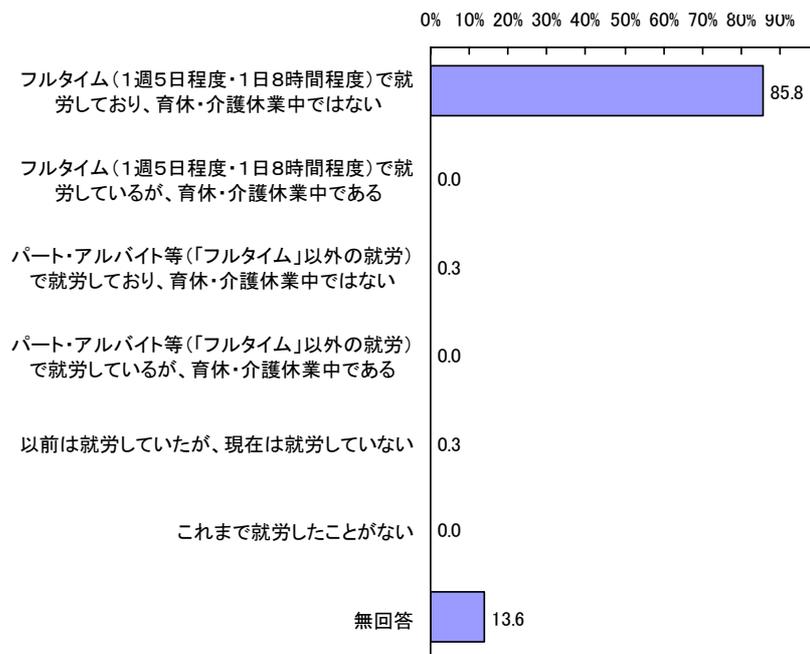


○「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（45.1%）という回答が最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」（28.7%）が多くなっている。

（2）父親

「フルタイムで就労している」という回答が多い

No.	選択肢	回答者数等	%
1	フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	308	85.8
2	フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0
3	パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	1	0.3
4	パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0
5	以前は就労していたが、現在は就労していない	1	0.3
6	これまで就労したことがない	0	0.0
	無回答	49	13.6
	全体	359	100.0



○「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」（85.8%）という回答が圧倒的に多くなっている。

◆就労希望の有無（問14）

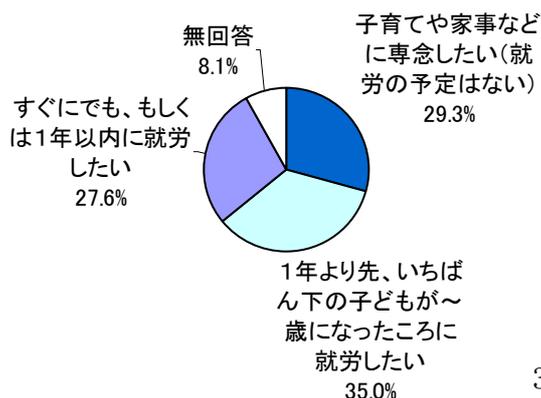
母親は「1年より先に就労したい」という希望が最も多い

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する内には数字をご記入ください（数字は1枠に1字）。

(1) 母親

No.	選択肢	回答者数等	%
1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	36	29.3
2	1年より先、いちばん下の子どもが～歳になったところに就労したい	43	35.0
3	すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	34	27.6
	無回答	10	8.1
	全体	123	100.0
	非該当	236	

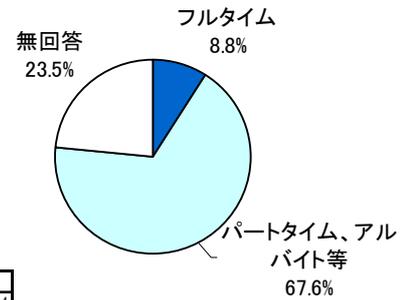


No.	選択肢	回答者数等	%
4	4歳	5	11.6
5	5歳	2	4.7
6	6歳	3	7.0
7	7歳	7	16.3
8	8歳	7	16.3
9	9歳	1	2.3
10	10歳	9	20.9
11	11歳	0	0.0
12	12歳	5	11.6
13	13歳	3	7.0
	無回答	1	2.3
	全体	43	100.0
	非該当	316	

○「1年より先に就労したい」(35.0%)という答えが最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(29.3%)が多くなっている。

【希望する就労形態】

No.	選択肢	回答者数等	%
1	フルタイム	3	8.8
2	パートタイム、アルバイト等	23	67.6
	無回答	8	23.5
	全体	34	100.0
	非該当	325	



<1週当たりの日数>

No.	選択肢	回答者数等	%
2	2日	2	8.7
3	3日	8	34.8
4	4日	8	34.8
5	5日	4	17.4
	無回答	1	4.3
	全体	23	100.0
	非該当	336	

<1日当たりの時間>

No.	選択肢	回答者数等	%
4	4時間	7	30.4
5	5時間	10	43.5
6	6時間	4	17.4
8	8時間	1	4.3
9	9時間以上	0	0.0
	無回答	1	4.3
	全体	23	100.0
	非該当	336	

(2) 父親

No.	選択肢	回答者数等	%
1	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	0	0.0
2	1年より先、いちばん下の子どもが～歳になったころに就労したい	0	0.0
3	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	0	0.0
	無回答	1	100.0
	全体	1	100.0
	非該当	358	

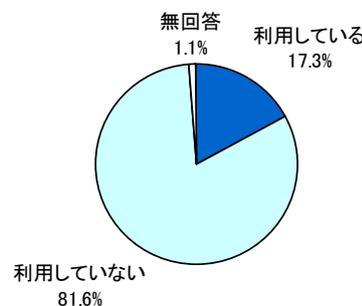
○該当者(1人)は「無回答」(100.0%)となっている。

◆学童クラブの現在の利用状況(問15)

全体では17.3%、1年生では30.4%の利用がある

問15 あて名のお子さんは現在、学童クラブを利用されていますか。(○は1つ)

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用している	62	17.3
2	利用していない	293	81.6
	無回答	4	1.1
	全体	359	100.0



○「利用していない」(81.6%)という回答が多く、「利用している」(17.3%)の5倍近くとなっている。

【学年別】 *上段…人数 (単位：人)、下段…構成比 (単位：%)

区 分	全体	利用して いる	利用して いない	無回答
合計	359 100.0	62 17.3	293 81.6	4 1.1
1年生	102 100.0	31 30.4	71 69.6	0 0.0
2年生	91 100.0	16 17.6	73 80.2	2 2.2
3年生	85 100.0	13 15.3	71 83.5	1 1.2
4年生	77 100.0	1 1.3	75 97.4	1 1.3

○学年が上がるほど「利用している」の割合が減少し、「利用していない」の割合が増加していることが分かる。1年生では、約3割の利用がみられる。

◆平日の学童クラブの利用量 (問 15-1)

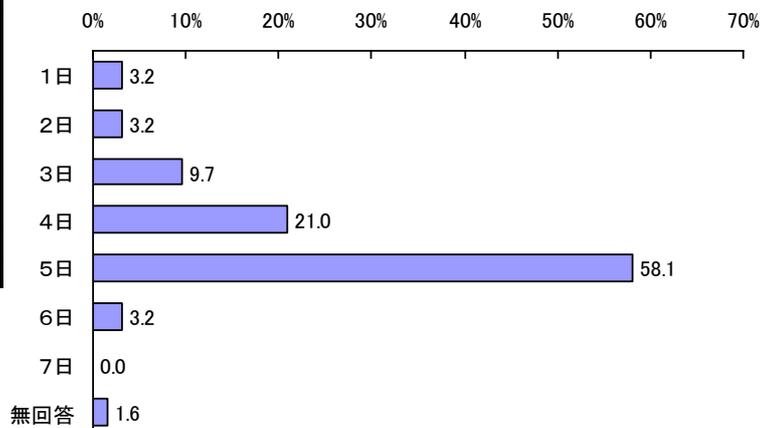
週に5日、1日に2、3時間が最も多い

◎問 15-1、-2は、問 15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 現在、平日に学童クラブを、どのくらい利用していますか。1週当たり何日、1日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、口内に具体的な数字でご記入ください (数字は1枠に1字)。時間は、必ず「例」09時～18時のように24時間制でご記入ください。曜日等により時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

< 1週当たりの日数 >

No.	選択肢	回答者数等	%
1	1日	2	3.2
2	2日	2	3.2
3	3日	6	9.7
4	4日	13	21.0
5	5日	36	58.1
6	6日	2	3.2
7	7日	0	0.0
	無回答	1	1.6
	全体	62	100.0
	非該当	297	



○「5日」(62人中36人) という回答が最も多くなっている。

< 1日当たりの時間 >

No.	選択肢	回答者数等	%
1	1時間	1	1.6
2	2時間	22	35.5
3	3時間	22	35.5
4	4時間	11	17.7
7	7時間	1	1.6
9	9時間	1	1.6
10	10時間	1	1.6
	無回答	3	4.8
	全体	62	100.0
	非該当	297	

○「2時間」と「3時間」(ともに62人中22人) という回答が多くなっている。

<開始時刻>

No.	選択肢	回答者数等	%
2	2時	1	1.6
3	3時	1	1.6
8	8時	4	6.5
12	12時	1	1.6
13	13時	4	6.5
14	14時	25	40.3
15	15時	24	38.7
	無回答	2	3.2
	全体	62	100.0
	非該当	297	

○「14時」(62人中25人)、「15時」(同24人)という回答が多くなっている。

<終了時刻>

No.	選択肢	回答者数等	%
6	6時	2	3.2
16	16時	14	22.6
17	17時	25	40.3
18	18時	19	30.6
	無回答	2	3.2
	全体	62	100.0
	非該当	297	

○「17時」(62人中25人)という回答が最も多く、「18時」(同19人)、「16時」(同14人)が続いている。

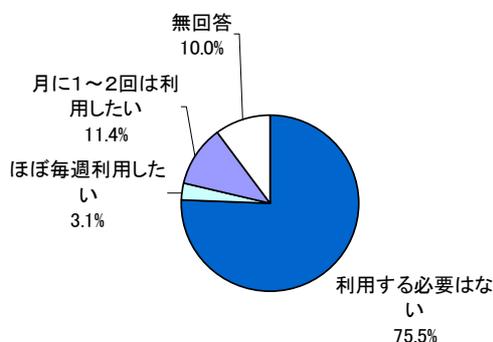
◆土・日・祝日の学童クラブ利用希望の有無 (問16)

利用ニーズは土曜日で14.5%、日曜・祝日で7.0%

問16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、「例」09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は1枠に1字)。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用する必要はない	271	75.5
2	ほぼ毎週利用したい	11	3.1
3	月に1～2回は利用したい	41	11.4
	無回答	36	10.0
	全体	359	100.0



○「利用する必要はない」(75.5%)という回答が最も多い。

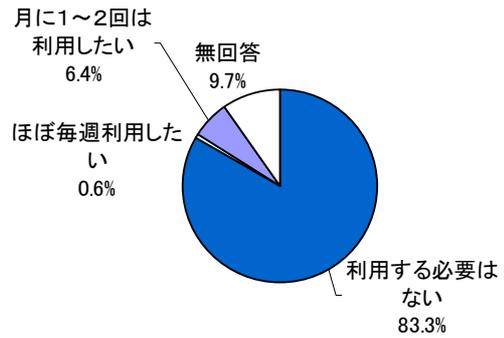
<利用したい時間帯(終了時刻)>

No.	選択肢	回答者数等	%
5	5時	1	1.9
14	14時	1	1.9
15	15時	5	9.6
16	16時	7	13.5
17	17時	17	32.7
18	18時	18	34.6
19	19時	2	3.8
	無回答	1	1.9
	全体	52	100.0
	非該当	307	

○ 終了時刻については、「18時」が34.6%で最も多く、次いで「17時」が32.7%と多くなっている。「19時」の回答は3.8%となっている。

(2) 日曜・祝日

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用する必要はない	299	83.3
2	ほぼ毎週利用したい	2	0.6
3	月に1～2回は利用したい	23	6.4
	無回答	35	9.7
	全体	359	100.0



○「利用する必要はない」(83.3%)という回答が8割強を占め最も多い。

<利用したい時間帯(終了時刻)>

No.	選択肢	回答者数等	%
5	5時	1	4.0
14	14時	1	4.0
15	15時	3	12.0
16	16時	5	20.0
17	17時	7	28.0
18	18時	8	32.0
	全体	25	100.0
	非該当	334	

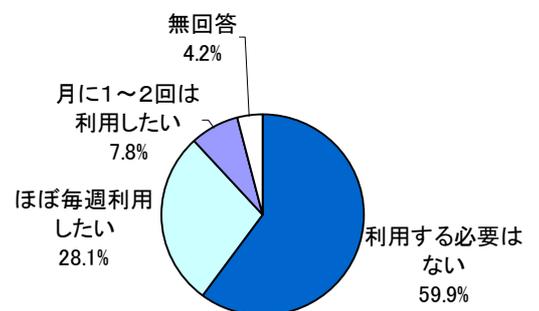
○ 終了時刻については、「18時」(25人中8人)という回答が最も多い。

◆休暇期間中の学童クラブの利用希望の有無(問17)

「ほぼ毎週利用したい」という回答が28.1%みられる

問17 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。また、利用したい時間帯を口内に「例)09時～18時」のように24時間制でご記入ください(数字は1枠に1字)。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用する必要はない	215	59.9
2	ほぼ毎週利用したい	101	28.1
3	月に1～2回は利用したい	28	7.8
	無回答	15	4.2
	全体	359	100.0



○「利用する必要はない」という回答が59.9%と多いが、「ほぼ毎週利用したい」という回答も28.1%みられる。

< 利用したい時間帯（終了時刻） >

No.	選択肢	回答者数等	%
4	4時	1	0.8
5	5時	1	0.8
6	6時	1	0.8
13	13時	2	1.6
14	14時	5	3.9
15	15時	11	8.5
16	16時	28	21.7
17	17時	39	30.2
18	18時	33	25.6
19	19時	8	6.2
	全体	129	100.0
	非該当	230	

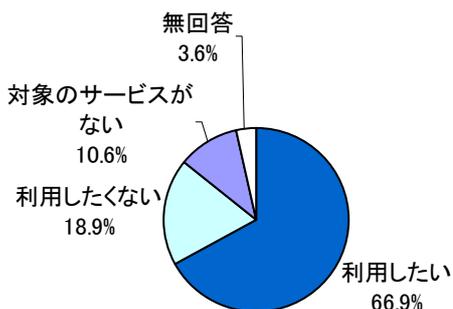
○ 終了時刻については、「17時」という回答が30.2%と多いが、「19時」という回答も6.2%ある。

◆ 「放課後子ども教室」の利用意向（問18）

「利用したい」が最も多く、66.9%を占めている

問18 すべての方にうかがいます。 地域によっては、学童クラブと連携して行うサービスとして「放課後子ども教室」がありますが、利用したいとお考えになりますか。（○は1つ）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	利用したい	240	66.9
2	利用したくない	68	18.9
3	対象のサービスがない	38	10.6
	無回答	13	3.6
	全体	359	100.0



○ 「利用したい」という回答が66.9%で最も多くなっている。

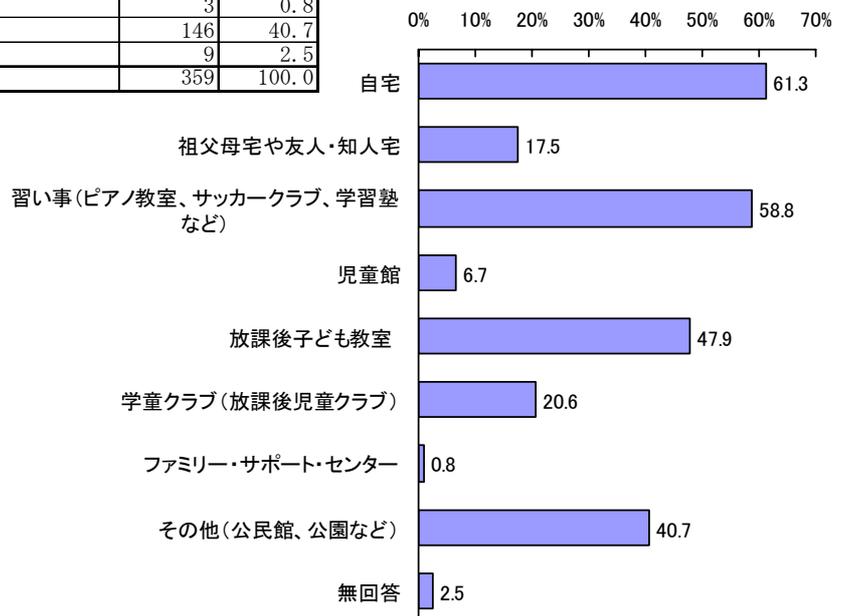
◆放課後過ごさせたい場所（問 19）

「自宅」、「習い事」、「放課後子ども教室」等が多い

問 19 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず「例）18時」のように24時間制でご記入ください（数字は1枠に1字）。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	自宅	220	61.3
2	祖父母宅や友人・知人宅	63	17.5
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	211	58.8
4	児童館	24	6.7
5	放課後子ども教室	172	47.9
6	学童クラブ（放課後児童クラブ）	74	20.6
7	ファミリー・サポート・センター	3	0.8
8	その他（公民館、公園など）	146	40.7
	無回答	9	2.5
	全体	359	100.0

○「自宅」（61.3%）という回答が最も多く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（58.8%）、「放課後子ども教室」（47.9%）が続いている。



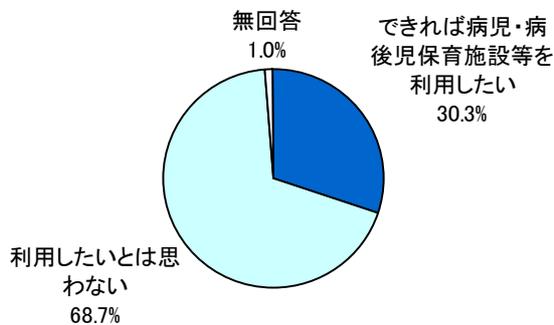
◆病児・病後児保育施設等の利用意向の有無（問 20-2）

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」という回答は、30.3%

問 20-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	30	30.3
2	利用したいとは思わない	68	68.7
	無回答	1	1.0
	全体	99	100.0
	非該当	260	



<利用したい日数>

No.	選択肢	回答者数等	%
1	1日	4	13.3
2	2日	7	23.3
3	3日	5	16.7
4	4日	2	6.7
5	5日	3	10.0
6	6日	0	0.0
7	7日	3	10.0
8	8日	0	0.0
9	9日	0	0.0
10	10日	1	3.3
11	11～14日	1	3.3
12	15～21日	0	0.0
13	22日以上	0	0.0
	無回答	4	13.3
	全体	30	100.0
	非該当	329	

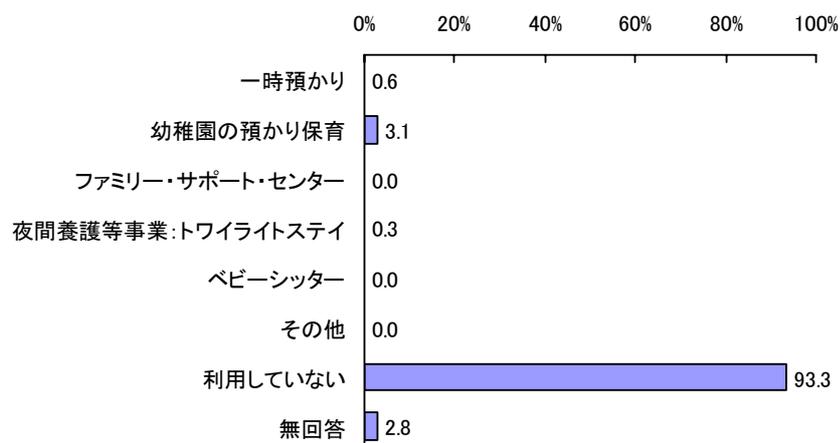
○「利用したいとは思わない」という回答が多く、68.7%を占めているが、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」という回答も 30.3%ある。

◆私用等のため不定期に利用している事業（問 21）

「利用していない」という回答は 93.3%

問 21 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は 1 枠に 1 字）。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	一時預かり	2	0.6
2	幼稚園の預かり保育	11	3.1
3	ファミリー・サポート・センター	0	0.0
4	夜間養護等事業：トワイライトステイ	1	0.3
5	ベビーシッター	0	0.0
6	その他	0	0.0
7	利用していない	335	93.3
	無回答	10	2.8
	全体	359	100.0

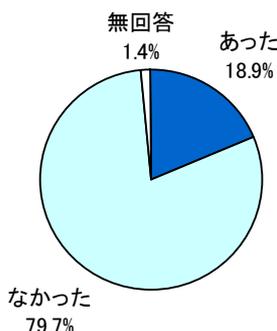


○「利用していない」(93.3%)という回答が最も多いが、利用のあったものの中では、「幼稚園の預かり保育(不定期の利用の場合)」(3.1%)が多くなっている。

◆子どもを泊りがけでみてもらわなければならなかった日数 (問 23) 「あった」という回答は 18.9%

問 23 この1年間に、保護者の用事など(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか(*預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(数字は1枠に1字)。

No.	選択肢	回答者数等	%
1	あった	68	18.9
2	なかった	286	79.7
	無回答	5	1.4
	全体	359	100.0



No.	選択肢	回答者数等	%
1	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	58	85.3
2	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	1	1.5
3	「2」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0
4	仕方なく子どもを同行させた	10	14.7
5	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1.5
6	その他	2	2.9
	無回答	1	1.5
	全体	68	100.0
	非該当	291	

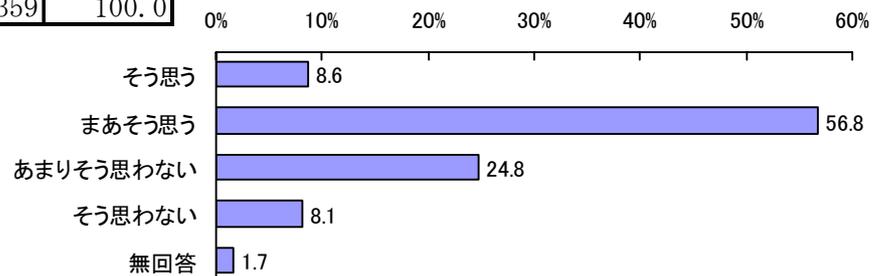
○「なかった」という回答は79.7%、「あった」という回答は18.9%。

◆安心して子どもを産み育てられるまちと思うか（問 24）

肯定的回答は 65.4%、否定的回答は 32.9%

問 24 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思われませんか。（〇は1つ）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	そう思う	31	8.6
2	まあそう思う	204	56.8
3	あまりそう思わない	89	24.8
4	そう思わない	29	8.1
	無回答	6	1.7
	全体	359	100.0



○「まあそう思う」（56.8%）という回答が最も多く、次いで「あまりそう思わない」（24.8%）が多くなっている。

「そう思う」と「まあそう思う」の回答割合を合わせると 65.4%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせると 32.9%となり、“肯定派”が“否定派”のほぼ2倍であることが分かる。

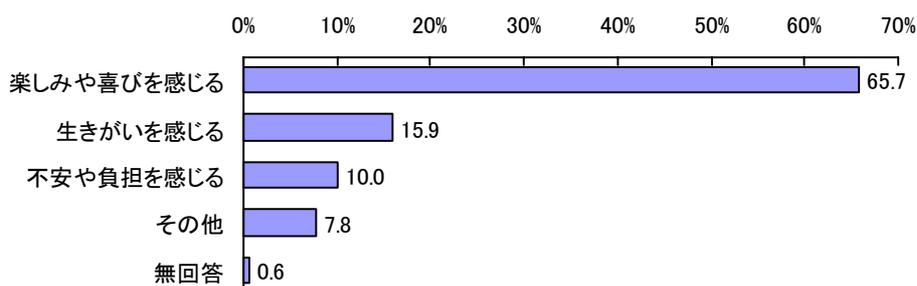
◆子育てについての感想（問 25）

「不安や負担を感じる」は 10.0%

問 25 あなたは、子育てについてどのように感じておられますか。（〇は1つ）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	楽しみや喜びを感じる	236	65.7
2	生きがいを感じる	57	15.9
3	不安や負担を感じる	36	10.0
4	その他	28	7.8
	無回答	2	0.6
	全体	359	100.0

○「楽しみや喜びを感じる」という回答が 65.7%と最も多いが、一方で「不安や負担を感じる」との回答が 10.0%みられる。

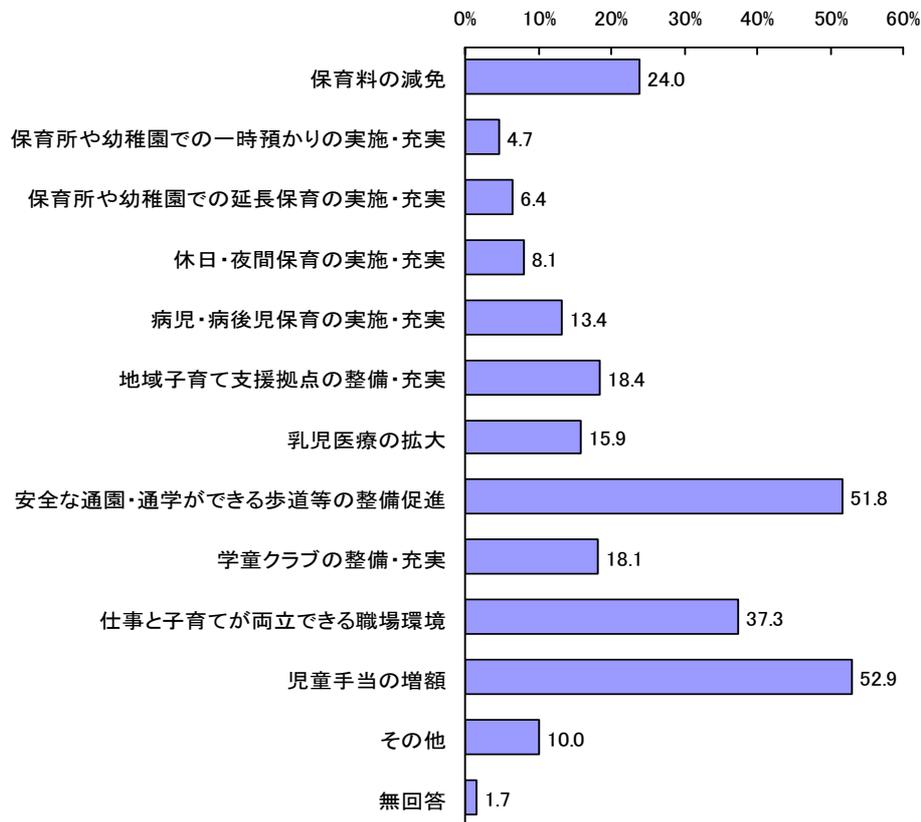


◆最も必要と思う子育て支援策（問 26）

「児童手当の増額」「歩道等整備の促進」「職場環境（整備）」等が多い

問 26 あなたが最も必要と思われる子育て支援策は次のどれですか。（近いもの3つまでに○）

No.	選択肢	回答者数等	%
1	保育料の減免	86	24.0
2	保育所や幼稚園での一時預かりの実施・充実	17	4.7
3	保育所や幼稚園での延長保育の実施・充実	23	6.4
4	休日・夜間保育の実施・充実	29	8.1
5	病児・病後児保育の実施・充実	48	13.4
6	地域子育て支援拠点の整備・充実	66	18.4
7	乳児医療の拡大	57	15.9
8	安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進	186	51.8
9	学童クラブの整備・充実	65	18.1
10	仕事と子育てが両立できる職場環境	134	37.3
11	児童手当の増額	190	52.9
12	その他	36	10.0
	無回答	6	1.7
	全体	359	100.0



○「児童手当の増額」（52.9%）と「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」（51.8%）という回答が過半数以上と多く、「仕事と子育てが両立できる職場環境」（37.3%）が続いている。